

# AI 比較ポータル<sup>o</sup>の衝撃

～さまざまな AI が台頭。結局どの AI を使えばいいのか？～

ライフデザイン研究部 主席研究員/テクノロジーリサーチャー 柏村 祐

## 1.さまざまなAIが台頭している現状

近年、AI 技術の目覚ましい進歩により、ChatGPT や Claude、Bard、Bing チャットなど、多種多様な生成 AI が登場している。これらの AI は、ユーザーの質問に対して驚くほど自然な言葉で回答を生成することができるため、個人の生活やビジネスシーンでの活用が大いに期待されている。しかし、あまりにも多くの AI モデルが存在するため、実際に AI を利用しようとする個人にとって、どの AI を選べばいいのか判断に迷ってしまうのが現状である。それぞれの AI には独自の特徴や得意分野があるため、利用目的に合わせて最適な AI を選ぶことが重要になるが、各 AI を 1 つずつ試して比較検討するのは時間と手間がかかる。

そこで登場したのが、複数の AI を一覧表示し、ユーザーの質問に対する各 AI の回答を提示してくれる AI 比較ポータルである。AI 比較ポータルは、生成 AI 活用の検討に役立つ画期的なツールであり、AI 利用のハードルを大きく下げしてくれる存在として注目を集めている。

AI 比較ポータルを使えば、手間をかけずに各 AI の特徴を把握し、ニーズに最適な AI を見つけ出すことができる。これにより、個人は AI 利用に向けた意思決定を素早く行うことが可能となり、日常生活やビジネスでの AI 活用の幅が広がることが期待される。

本レポートでは、AI 比較ポータルの登場が生成 AI の活用にもたらす変革について考察していく。AI 比較ポータルという新しいツールを活用することで、私たちは AI 活用の可能性をどのように広げていけるのであろうか。その答えを探るため、まずは AI 比較ポータルの特徴と利点について詳しく見ていくことにする。

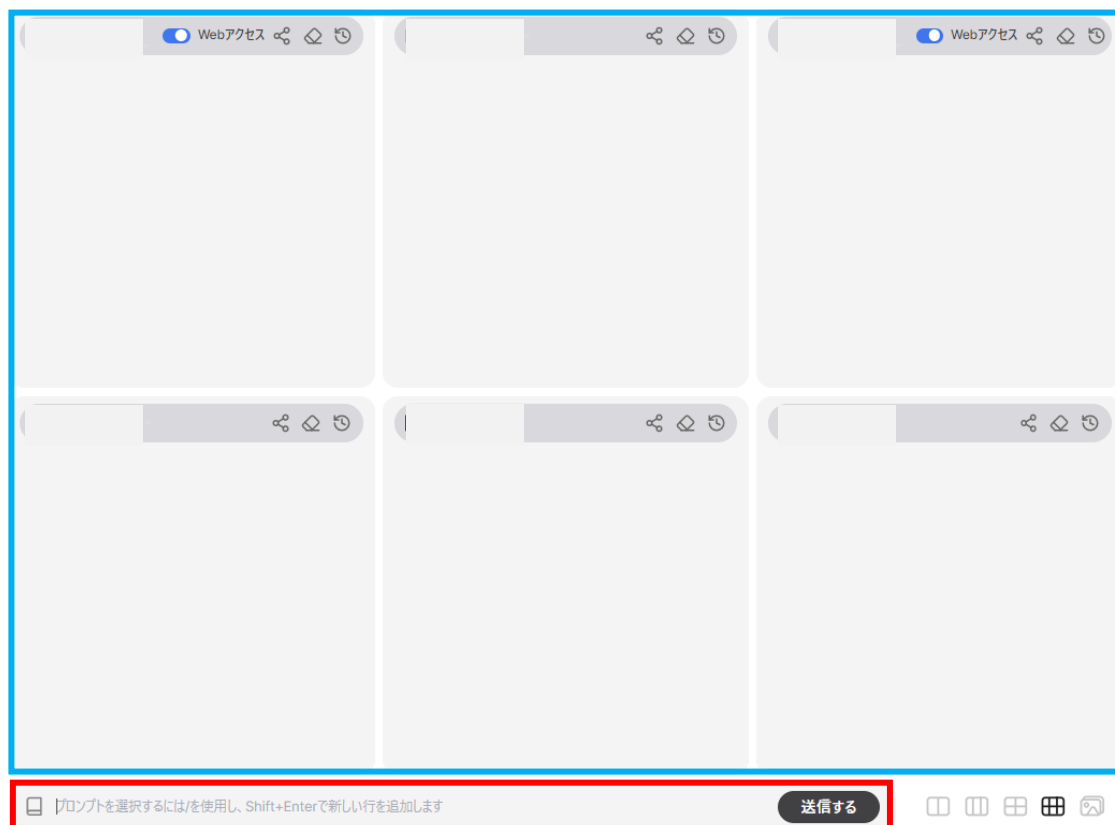
## 2.AI比較ポータルの能力

AI比較ポータルの最大の特徴は、複数のAIモデルを同時に比較できる点にある。AI比較ポータルのトップ画面には、AI比較モードの設定があり、ユーザーは複数のAIを同時に比較することができる。この機能により、各AIの回答を並列して表示し、それぞれの特徴や違いを一目で把握することが可能となる。

たとえば、図表 1 はAI比較ポータルの 6 つのAIを比較するモードのトップ画面である。このトップ画面には 6 つのAIモデルが一覧で表示され、ユーザーが簡単に比較することができる。各AIモデルには、名称やアイコンが割り当てられており、視覚的に

区別しやすいデザインになっている。また、画面下部には質問入力欄が設けられ（図表 1 赤枠）、ユーザーが比較したい質問を入力することで、選択したAIモデルの回答を一度に確認できる仕組みになっている（図表 1 青枠）。

図表 1 AI 比較ポータル の 6 つの AI 比較モード の トップ画面



資料: ChatPlayground より筆者作成

ここからは、AI比較ポータルの能力を検証するため、具体的な事例を用いてその実態を探る。ここでは、転職をテーマとして取り上げる。転職に関する質問は、多くの人にとって関心の高い話題であり、AI比較ポータルの実用性を判断するうえで適切な事例といえる。

まず、AI比較ポータルに「転職を考えています。転職活動を始める前に準備しておくべきことを教えてください」と入力し、3つのAIモデルを比較する設定にする。AI比較ポータルは、各AIモデルの回答を並べて表示してくれるため、回答内容の違いを簡単に確認することができる（図表 2）。図表 2 の左側のAIの回答では、自己分析、職務経歴書の作成、面接対策などの重要性に触れ、ビジネス特化型SNSやキャリア系プラットフォームのプロファイル更新、ネットワーク作りの重要性も指摘している。図表 2 の中央のAIの回答は、自己分析や職務経歴書の作成、スキル・経験のアピールの仕方など、より具体的かつ詳細な準備方法を提示している。一方、図表 2 の右側の

AIの回答は、他の2つのAIとは異なり、転職活動そのものの準備に加えて、転職後のキャリアプランや自己啓発の重要性にも言及している点が特徴的である。

図表2 転職活動の準備に関する3つのAIモデルの回答比較

USER	USER	USER
転職を考えています。転職活動を始める前に準備しておくべきことを教えてください	転職を考えています。転職活動を始める前に準備しておくべきことを教えてください	転職を考えています。転職活動を始める前に準備しておくべきことを教えてください
<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職を考えているとのことですね。転職活動を始める前に準備しておくべきことは以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己分析: 自分の強みや弱み、希望する職種や業界を明確にしましょう。</li> <li>履歴書と職務経歴書の作成: 自分の経験やスキルをしっかりと伝えるために、履歴書と職務経歴書を準備しましょう。</li> <li>LinkedInやWantedlyなどのプロフィール更新: 自分のオンラインプロフィールを最新の状態に更新し、企業からのアプローチを受けやすくしましょう。</li> <li>ネットワーキング: 業界や職種に関連するイベントやセミナーに参加し、人脈を広げましょう。</li> <li>面接対策: 想定される質問に対する回答を準備し、模擬面接を行うことで自信をつけましょう。</li> <li>市場調査: 希望する職種や業界の転職市場の動向を調査し、適切な求人情報を把握しましょう。</li> </ul>	<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職活動を始め前に、以下のようなことを準備しておくことをおすすめします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己分析をする: 自分の強み、スキル、価値観、やりたい仕事などを明確にしましょう。これにより、自分に合った求人を見つけやすくなります。</li> <li>履歴書・職務経歴書を更新する: 最新の経験、スキル、実績を反映させた履歴書と職務経歴書を用意しましょう。</li> <li>ネットワークを活用する: 知人、同僚、友人などに転職の意思を伝え、情報収集や紹介を依頼しましょう。LinkedInなどのSNSも活用できます。</li> <li>業界・企業研究をする:</li> </ul>	<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職活動、頑張ってくださいね！準備として、いくつか大切なことがありますよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li><b>自分の棚卸し:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>どんな仕事をしてきたのか、どんなスキルや経験があるのか、棚卸しをしてみましょう。</li> <li>キャリアの棚卸しには、職務経歴書の作成が役立ちます。</li> <li>自分自身の強みや弱み、キャリアプランを明確にしておきましょう。</li> </ul> </li> <li><b>業界・企業研究:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>興味のある業界や企業について、徹底的に調べましょう。</li> <li>企業のホームページ、求人情報サイト、業界ニュースなどを参考にしましょう。</li> <li>企業のビジョン、事業内容、社風、待遇などを理解することが重要です。</li> </ul> </li> <li><b>求人情報の収集:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>求人情報サイトや企業ホームページで、自分に合った求人を探しましょう。</li> <li>興味のある企業には、積極的にアプローチしてみましょう。</li> </ul> </li> <li><b>スキルアップ:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>就きたい仕事に必要なスキルを身につけるために、資格取得やセミナー受講などを検討しましょう。</li> <li>オンライン学習サービスなども活用できます。</li> </ul> </li> <li><b>面接対策:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>面接でよく聞かれる質問への回答を準備しておきましょう。</li> <li>模擬面接などを通して、面接の練習をしておくことも有効です。</li> </ul> </li> </ol> <p>転職活動は大変ですが、準備をしっかりとっておけば、必ず良い結果に繋がります！頑張ってください！</p>

資料: ChatPlayground より筆者作成

次に、「転職面接で想定される質問とその対策について説明してください」という質問を、3つのAIモデルを比較する設定で入力する(図表3)。図表3の左側のAIの回答は、自己紹介や志望動機、職務経歴、転職理由など、よくある質問を挙げ、それぞれの質問の意図や回答のポイントを端的に説明している。図表3の中央のAIの回答は、図表3の左側のAIと同様の質問を取り上げつつ、コンピテンシーに関する質問など、より具体的な質問例を挙げている点が特徴的である。図表3の右側のAIの回答は、他の2つのAIに比べ、質問の意図や対策をより詳細に説明しており、面接官の視点に立った回答の必要性を強調している。また、面接全体を通しての心構えやマナーについても言及している。

図表 3 転職面接の想定質問と対策に関する3つのAIモデルの回答比較

USER	USER	USER
転職面接で想定される質問とその対策について説明してください	転職面接で想定される質問とその対策について説明してください	転職面接で想定される質問とその対策について説明してください
<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職面接で想定される質問とその対策について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介:           <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介では、過去の経験やスキル、現在の状況、将来の目標を簡潔に述べることが重要です。</li> <li>例: 「私は〇〇大学の△△学部を卒業後、〇〇業界で××年間働いてきました。これまでに〇〇なプロジェクトに携わり、△△なスキルを磨いてきました。貴社では〇〇に注力し、〇〇な目標を達成したいと考えています。」</li> </ul> </li> <li>なぜ転職を希望するのか:           <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の職場での成長機会や、新たなチャレンジを求めていることを前向きに述べましょう。</li> <li>例: 「現在の職場では素晴らしい経験をさせていただきましたが、新しい環境でさらにスキルを活かし、貢献したいと考えています。」</li> </ul> </li> <li>強み・強み:           <ul style="list-style-type: none"> <li>強みは具体例を交えて説明し、強みについては改善に向けた取り組みを述べることが大切です。</li> <li>例: 「私の強みは問題解決能力であり、過去に△△な状況で〇〇な成果を挙げました。強みとしては△△があり、〇〇の方法で改善しています。」</li> </ul> </li> <li>貴社を選んだ理由:           <ul style="list-style-type: none"> <li>企業研究をしっかりと行い、企業のビジョンや文化に共感していることを示しましょう。</li> <li>例: 「貴社の〇〇に共感し、△△なビジョンを持っていることに魅力を感じました。」</li> </ul> </li> <li>将来の目標:           <ul style="list-style-type: none"> <li>長期的なキャリアプランを考え、その企業で成し遂げたいことを述べましょう。</li> <li>例: 「5年後には△△な役割で活躍し、〇〇な成果を出したいと考えています。」</li> </ul> </li> </ul> <p>これらの質問に対する対策をしっかりと練り、面接に臨む準備をしておくことが重要です。</p>	<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職面接で想定される質問と対策は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>転職理由を尋ねられる。前向きな理由を述べ、前の職場の悪口は言わないこと。自己成長や新しいチャレンジを求めているなどがよい。</li> <li>自己PRを求められる。自分の強み、スキル、経験をアピールする。具体的なエピソードを交えることよい。</li> <li>志望動機を聞かれる。その会社でやりたいことや魅力を感じた点を具体的に語る。業界や事業内容の理解をアピール。</li> <li>逆質問を促される。会社の将来性や仕事内容、社風など、前向きな質問を用意しておく。</li> </ul>	<p><b>ASSISTANT</b></p> <p>転職面接では、あなたのスキル、経験、そして適性がその企業とポジションに合致しているかを見極めようとしています。そのため、想定される質問は多岐に渡りますが、大きく以下の様なカテゴリーに分類できます。</p> <p><b>自己PR・志望動機</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あなたの強みと、なぜその会社・職種を選んだのかを明確に伝えましょう。具体的なエピソードなどを交えて、説得力を持たせることが重要です。</li> <li>例: なぜ転職しようと思ったのですか?</li> <li>例: 前職ではどのような経験を積みましたか?</li> <li>例: 当社のどこに魅力を感じますか?</li> <li>例: この仕事で何を達成したいのですか?</li> </ul> <p><b>経験・スキル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>過去の経験で得られたスキルや知識を具体的に説明し、それがどのように活かせるかをアピールしましょう。数字などを用いると、より説得力が増します。</li> <li>例: 前職でどのようなプロジェクトに携わっていましたか?</li> <li>例: あなたの強みと弱みは何ですか?</li> <li>例: チームで働く際に心がけていることは何ですか?</li> <li>例: ストレスを感じた時、どのように対処しますか?</li> </ul> <p><b>キャリアプラン・将来 vision</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あなたのキャリアプランと、その企業での仕事がどのように繋がるのかを示すことが重要です。将来のビジョンを具体的に語らしましょう。</li> <li>例: 今後どのようなキャリアを築きたいですか?</li> <li>例: 5年後、10年後はどうなりたいですか?</li> <li>例: この会社でどのような成長を期待しますか?</li> </ul> <p><b>企業・業界理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業研究や業界研究をしっかりと行い、なぜその企業で働きたいのか、その業界で何をしたいのかを熱意を持って伝えましょう。</li> <li>例: 当社の事業内容について、どのような点に関心していますか?</li> <li>例: 業界の動向について、どのように考えていますか?</li> <li>例: 競合他社と比較して、当社をどのように評価しますか?</li> </ul> <p><b>逆質問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>逆質問は、あなたの積極性や熱意を示すよい機会です。事前に質問をいくつか用意しておきましょう。</li> <li>例: 社内研修制度について教えてください</li> <li>例: 配属先はどのように決定しますか?</li> <li>例: 入社前にやっておくべきことはありますか?</li> </ul> <p><b>面接対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上記のポイントを踏まえ、想定される質問への回答を事前に準備しておきましょう。</li> <li>また、面接のマナーや身だしなみにも注意が必要です。</li> <li>模擬面接などを通して、自信を持って本番に臨めるように練習しておきましょう。</li> </ul> <p>転職活動は大変ですが、しっかりと準備をして、自信を持って面接に臨んでください!</p>

資料: ChatPlayground より筆者作成

以上、AI比較ポータル能力を検証するため、転職に関する質問を用いて、複数のAIモデルの回答を比較してみた。その結果、以下のような見解が得られた。AI比較ポータルは、同じ質問に対する複数のAIモデルの回答を一覧で表示することで、各AIの特徴や違いを簡単に把握できる。図表2と図表3の事例から、AIモデルによって回答の視点や詳細さ、具体性に違いがあることがわかった。これにより、ユーザーは自分のニーズに合ったAIモデルを選択しやすくなる。また、AI比較ポータルを使えば、各AIモデルの回答の正確性や充実度、わかりやすさなどを多角的に評価することが可能である。これは、AI利用の意思決定を行う際に非常に有益な情報となるだろう。

今回、筆者自身がAI比較ポータルを実際に操作してみたが、非常に使いやすく直感的なインターフェースであると感じた。質問を入力するだけで、複数のAIモデルの回答を一度に比較できるのは画期的である。また、比較するAIモデルの数を自由に選択できるのも便利な機能といえる。

### 3.AI比較ポータルの価値と未来

AI比較ポータルは、「さまざまなAIが台頭し、どのAIを使えばいいのか判断に迷ってしまう」という問題に対する解決策として大きな価値をもっている。AI比較ポータルを活用することで、自分のニーズに最適なAIを素早く見つけ出し、迅速に意思決定を行うことが可能となる。

従来、AIを利用する際には、それなりの時間と手間をかけて各AIモデルを個別に調査・評価する必要があった。しかし、AI比較ポータルを使えば、そのプロセスを大幅に簡略化することができる。図表4に示すように、AI比較ポータルを活用することで、複数のAIモデルを同時に比較し、評価の多角性を高めながら、ユーザーの負担を軽減することが可能である。

図表4 AI比較ポータル活用と従来のAI評価プロセスの比較

項目	1つ1つAIを確認するプロセス	複数のAIモデルを同時に確認するプロセス (AI比較ポータルの活用)
手順	各AIを個別に調査・評価	AI比較ポータルで複数のAIを同時に比較
所要時間	長い	短い
比較の容易さ	難しい	容易
評価の多角性	限定的	高い
意思決定の速度	遅い	速い
ユーザーの負担	大きい	小さい

資料:筆者作成

AI比較ポータルは、AI選択に関する疑問を解消し、明確な判断基準を提供してくれる。ユーザーは、自分の質問に対する各AIモデルの回答を並列で確認し、それぞれの特徴や違いを一目で把握することができる。これにより、自分のニーズに最も合致したAIを選択することができる。

今後、AI比較ポータルの利用が広がることでAI活用が加速し、生活の利便性向上や業務の効率化が実現されることが期待される。AI比較ポータルは、生成AIの可能性を最大限に引き出すためのカギとなるツールであり、その価値は非常に高い。

ユーザーがAI比較ポータルを積極的に活用し、生成AIの力を生活やビジネスに取り入れることで、新たなイノベーションが生まれることが予想される。AI比較ポータルが切り拓く、生成AIの新たな未来に大いに期待したい。